

2020年4月24日(金)北海道白老町にオープン

「民族共生象徴空間」の愛称は

「ウポポイ」

((おおぜいで) 歌うこと)

に決定しました。



10月26日～11月11日に実施した「民族共生象徴空間」の愛称を決定するための投票につきましては、全国すべての都道府県から合計10,641票（当サイトからの投票及びFAX等紙媒体による投票の合計）の投票をいただきました。その結果、最も多い投票をいただいた「ウポポイ」（おおぜいで）歌うことが、「民族共生象徴空間」の愛称に決定しました。

皆様からのたくさんの投票、本当にありがとうございました。

投票結果

第1位	ウポポイ（おおぜいで）歌うこと	4,296票
第2位	ウヌカリ（互いに会うこと）	3,374票
第3位	ウタルニ（人々がいるところ）	2,971票
	合計	10,641票

愛称の選考プロセスについて（2018.12.11追記）

愛称候補の選考に当たっては、アイヌ語を学んでいるアイヌの方々を中心に、「民族共生象徴空間」の意義・目的を、アイヌ語又はアイヌ語に由来する言葉で表現し、かつ、覚えやすく親しみやすいと思われる原案を全35件提案いただきました。

学識経験者やアイヌ文化伝承者等から構成する「愛称等選考委員会」において、ご提案いただいた方が原案に込めた想いを尊重しつつ、語感の良さ、覚えやすさ・親しみやすさの観点から検討を行い、投票候補となった上記3つの案を最終候補として選定しました。

委員会による選考に当たっては、専門家の助言を踏まえ、以下に該当すると判断されたものは、選考対象から除外しました。

- 第三者の権利を侵害、あるいは、するおそれがあると判断されたもの（例：著作物や屋号として第三者による使用が確認されたもの）
- 商標登録になじまないと判断されたもの（例：地名や、施設の名称として長年親しまれてきたもの）

なお、最終候補となった3つの案に係る日本語の説明について、一般投票開始後に寄せられたご意見、愛称の性格を踏まえ、あらためて精査を行った結果、若干の変更をしておりますが、原案に込められた趣旨は変わりません。